



## 巻頭言

理事長 佐藤貞夫

「社会貢献こそが情熱を保ち続けられる秘訣」と言われているので、私共が今までに様々な活動で培った経験を生かし地域に尽くしていく事が自分たちも周囲も元気になる。つまり「自他共の幸福」を目指す生き方こそが人生百年時代の「幸福社会」を築く最大のモデルだと思ふ。そして、他者に貢献できたという実感がそのまま自分身の課題に立ち向かう知恵と力に成ることを信じていたい。

「コロナの感染症法上の位置づけが「二類相当」から「五類」に引き下がったのと同時期に、令和五年度がスタートした。これからは、強制力を伴う行動制限がなく、人の集まる所でどのような対策を講じるか、マスクの使用可否は自己判断することになる。「ウイルスとの共存」という宿題に取り組みながら、感染防止と経済活動に心を砕きつつ、計画（採択）された事業を高々と実行して参りたい。

「社会貢献こそが情熱を保ち続けられる秘訣」と言われているので、私共が今までに様々な活動で培った経験を生かし地域に尽くしていく事が自分たちも周囲も元気になる。つまり「自他共の幸福」を目指す生き方こそが人生百年時代の「幸福社会」を築く最大のモデルだと思ふ。そして、他者に貢献できたという実感がそのまま自分身の課題に立ち向かう知恵と力に成ることを信じていたい。

今年（卯）年、うさぎは穏やかな性質であるため安全の象徴また跳躍する姿から「飛躍」「向上」という意味もあり、そうなることを期待したい。またあつという間に月日が過ぎていく意味の「兎走鳥飛」という言葉もあるので、日々を大切にしながら、会員一同英知を結集し事業を展開して参りたい。

## 総会開催 5月20日

伊達市長 須田博行様の挨拶後、保原総合支所係長 橘潤様ご出席のもと、協議に入りました。事業・決算報告、計画・予算案が承認され今年度の事業を開始しました。

今回退会される、大河内邦夫様、



伊達市長

熊田弥六様、山田健一様、桃井次夫様、菅野秀樹様、長い間ご苦勞様でした。



総会

## 令和5年度 事業計画

8月26日(土)	みんなのまちなか食堂	12月23日(土)	学習支援
26日(土)	むかし話語り聞かせ会	23日(土)	みんなのまちなか食堂
9月10日(土)	みんなの健康介護教室	23日(土)	むかし話語り聞かせ会
14日(木)	うたごえ喫茶	13日(金)	保原幼稚園「団子刺し」
23日(土)	みんなのまちなか食堂	27日(土)	学習支援
23日(土)	むかし話語り聞かせ会	27日(土)	みんなのまちなか食堂
24日(日)	町内会対抗パークゴルフ大会	27日(土)	むかし話語り聞かせ会
30日(土)	ニューライフ体操教室	2月4日(日)	手作り餃子・ワンタン教室
10月7日(土)	なりすまし詐欺防止講習会	8日(木)	うたごえ喫茶
12日(木)	うたごえ喫茶	17日(土)	おもちやクリニツク
15日(日)	パンケーキづくり	24日(土)	学習支援
19日(木)	フラワーアレンジメント	24日(土)	みんなのまちなか食堂
21日(土)	おもちやクリニツク	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
28日(土)	学習支援	23日(土)	学習支援
28日(土)	みんなのまちなか食堂	23日(土)	みんなのまちなか食堂
28日(土)	むかし話語り聞かせ会	23日(土)	むかし話語り聞かせ会
11月3日(金)	100円商店街	3月23日(土)	学習支援
31日(火)	霊山トレッキング	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
4日(土)	実技救命講習	24日(土)	みんなのまちなか食堂
5日(日)	そばうち教室	24日(土)	学習支援
7日(火)	クラフトリース教室	17日(土)	おもちやクリニツク
9日(木)	うたごえ喫茶	24日(土)	みんなのまちなか食堂
11日(土)	つるしびな作り教室	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
18日(土)	保原小学校こども祭り「はねくら」	24日(土)	みんなのまちなか食堂
19日(日)	竹灯籠づくり	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
25日(土)	学習支援	24日(土)	みんなのまちなか食堂
25日(土)	みんなのまちなか食堂	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
25日(土)	むかし話語り聞かせ会	24日(土)	みんなのまちなか食堂
12月10日(日)	門松作り	24日(土)	学習支援
14日(木)	保原小学校しめ縄作り体験	24日(土)	みんなのまちなか食堂
16日(土)	おもちやクリニツク	24日(土)	むかし話語り聞かせ会
17日(日)	みんなの健康介護教室	24日(土)	みんなのまちなか食堂

## 令和5年度 予算

※その他多くの事業があります。

〈収入総額〉	9,720 千円
・ 交付金・会費・繰越金等	
〈支出総額〉	9,720 千円
・ 報酬等	5,573 千円
・ 旅費交通費	50 千円
・ 会議費	130 千円
・ 消耗品費	1,107 千円
・ 食糧費	667 千円
・ 印刷製本費	374 千円
・ 修繕費	18 千円
・ 通信費	317 千円
・ 手数料	43 千円
・ 保険料	76 千円
・ 委託料	364 千円
・ 使用料	1,010 千円

健康と個性が創る活力と希望あふれるほばら

理事長	佐藤 貞夫
副理事長	高野 順子
副理事長	浦山 昌彦
副理事長	齋藤 徹雄
副理事長	浅野 嘉尚
理事	佐藤 信雄
理事	佐瀬 之人
理事	大石 洋介
理事	小川 新
理事	大橋 利夫
理事	佐藤 高広
監事	大橋 利三
監事	山田 茂
事務局長	佐瀬 之人
事務局員	片平 和子

令和5年度役員組織(敬称略)

二役会



各部会長



二役会

理事長	佐藤 貞夫
副理事長	高野 順子
副理事長	浦山 昌彦
副理事長	齋藤 徹雄
副理事長	浅野 嘉尚

各部会

総務企画部会
○大石 洋介
水口泉太郎
齋藤 徹雄
浅野 嘉尚
森川 尋子
齋藤 一司
舟山 淳
真岡 進

○は部会長

健康福祉部会
○浦山 昌彦
鈴木志美子
菊田 保
樋口 洋司
佐藤 吉治
齋藤 信昭
齋藤 保徳

地域づくり部会
○小川 新
佐藤 貞夫
佐藤 信雄
滝澤 英幸
高野 順子
滝澤 茂子
馬場 裕隆
引地 聡

環境防災部会
○大橋 利夫
高橋 文雄
大橋 悦夫
大橋 利三
島田 久也
大橋 宏子
黒須 秀一

社会教育部会
○佐藤 高広
本多 洋
山田 茂
川崎理恵子
滝澤 由希
佐藤 英一
高野 秀子
平林 寛征

(敬称略)



クマガイソウ女沼散策

5月12日(金)

絶滅危惧種クマガイソウが自生する群生地に地域ボランティアの方が案内してくれ、鮮やかな新緑の空気を吸いリフレッシュできました。

むかし話語り聞かせ会

毎月第4土曜日

午後1時より、交流館1階和室で行われています。「ざっと昔話の会」により保原町を中心にした昔話を聞くことができます。まちなか食堂の後に開催されます。



うたごえ喫茶

5月11日(木)より開始

講師はアコーディオン伴奏者の千本松四郎様。リクエスト特集、アニメソング、イントロ曲名クイズ等で、みんなで楽しく歌っています。



防災講演会

6月3日(土)

福島気象台の小田島様、赤十字県支部業務推進課野崎様、市防災専門官星様より、「気象の特徴」「災害への備え」「防災対応」の講義を拝聴しました。

## 町の名所旧跡紹介

長谷寺 住職 平林寛征

# 天

長年中（八百年頃）弘法大  
使がこの地に移して広智寺  
と称していたが、永徳年中（千三百  
年頃）長谷寺と改称された。

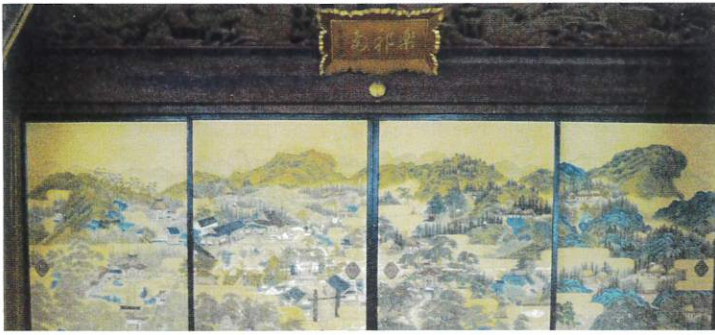
正式寺名は、金剛山 宗還院長谷  
寺と言い、伊達郡における真言宗の  
総本寺であった。

当寺は三度の火災に遭遇しており、  
栄華を誇った七堂伽藍、金剛界五仏  
殿堂、法具、古記録類など多くの貴  
重な什物を失ってしまった。

現在の本堂は、明治十六年から三  
年の歳月をかけて完成した。正面八  
側面七間の入母屋造りで唐破風向拝  
と本堂欄間には豪壮な彫刻が施され  
ている。山門は旧保原陣屋の表門を  
明治十八年頃に移転したもので、伊  
達市文化財の指定を受けている。

歴代住職は、中興第一世定善から  
数えて二十七世宥京、二十八世宥尚、  
二十九世宥賢、現在は平林寛征で第  
三十世となる。

仏像（本尊五智如来坐像・木造阿  
弥陀如来立像・木造大日如来坐像他）、  
仏画（両界曼荼羅一組・経蔵内四面  
に米倉兌作画の大壁画）を所蔵する。



## らくらくストレッチ

6月17日(土)

健康福祉部主催で開催。講師は水戸章様。



## 史跡巡り（福島市三十三観音巡り）

6月10日(土)

遠藤講師の説明もよく大変勉強になりました。昼食も大変おいしかったです。



## 雄国沼トレッキング

7月4日(火)

晴天に恵まれ、猫魔岳→やまびこ探勝路→雄国沼のコースで行われニッコウキスゲがきれいでした。



## まちなか食堂

6月24日(土)

赤橋・宮城育  
成会の皆さんです。

地元ボランティ  
アの皆さんです。



## 現代の名工

### 白井司一氏

(有限会社 白井木工所 会長)

# 白

井氏は、釘を使わずに木と木を組合せ、千分の一ミリ単位の精度で紙一枚の隙間もなく、加工することのできる匠の技をもつ熟練した建具職人です。

平成二十五年厚労大臣卓越技能賞「現代の名工」、平成二十六年に国の「黄綬褒章」を受賞されました。

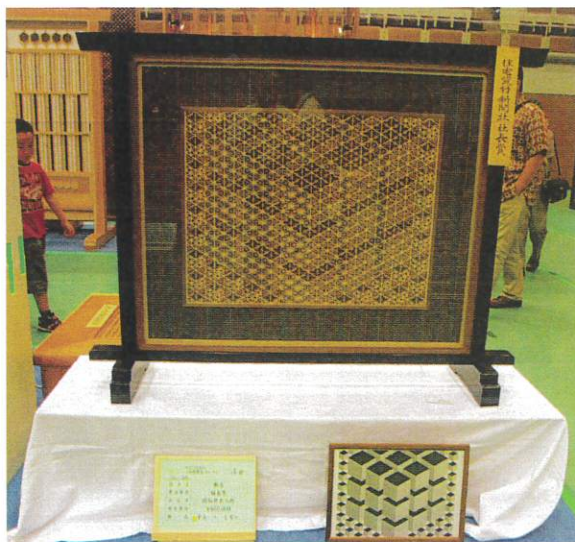
和室の障子や欄間などの建具に使用われ組子が作る模様は様々な形に姿を変え空間や景色を彩ります。緻密な模

様は建具職人の腕の見せどころです。制作した作品を「伊達組子」と名づけ伝統の技を守り続けています。

三十代の時、同業者と組子講習会に参加したのがきっかけ。その後研究会を発足し指導者を招いて技術向上と伝統建具技術の素晴らしさを次世代に残すために始められたということ。

組子づくりの楽しさや喜びは、材種により異なる木の色の違いを生かし数ある組子の花模様を作り全体のデザインを考えることです。

保原小学校等で、伝統技術を伝えるため、多忙な中を元気に指導されています。(聞き手は広報委員)



組子入り衝立 (保原小学校に寄贈)



児童たちに指導されている白井氏



作業場で新デザインに取り組む白井氏

## カメラを覗くと



きれいな花畑 (ポピー)

## お知らせ

### ■QRコードを設けました

ホーム画面で「便利ツール」↓「QRコード読み取り」↓QRコードを枠内に写す↓URLをプレス↓NPO法人自治振興会ホームページに接続できます。各事業等詳しくご覧になりたい方はご利用ください。



### ■新企画3コーナー掲載

今回から、「町内会、各種団体、保原の方言」に代わり、新企画3コーナーで掲載いたします。

- ①地域で活躍する個人や団体
- ②地域の名所旧跡紹介
- ③カメラを覗くと です。

取材の協力をお願いいたします。今まで「保原の方言」を長く執筆いただきました島田久也様の御芳苦に、感謝申し上げます。

### ■あながき

私たち編集委員六名は、親しまれる広報づくりを目的とし研修を深めていきます。

島田久也、川崎理恵子、齋藤一司、小川新、齋藤信昭、齋藤徹雄



問い合わせ先

NPO法人保原中央自治振興会

住所

保原町字宮下二二一四(保原中央交流館二階)

電話

〇二四一五六三一一三三

FAX

〇二四一五六三一一三七

メール

f-shinkokukai@aurora.ocn.ne.jp